

感染症の流行・発生状況について
 2026年第23週(6月1日～6月7日)診断分

● 県全体の警報・注意報

警報	なし
注意報	なし

● 各保健所の警報レベル・注意報レベル

警報レベル	注意報レベル
南部・八重山: 流行性角結膜炎	南部保健所: 水痘

● 2026年第23週 南部保健所管内の全数報告について ※先週までの訂正追加報告も含む

(四類感染症) ・E型肝炎: 1件 ・レジオネラ症: 2件	(五類感染症) ・後天性免疫不全症候群(HIVを含む): 1件 ・侵襲性肺炎球菌感染症: 1件 ・梅毒: 1件 ・百日咳: 1件
-------------------------------------	---

● 南部保健所からのお知らせ

「手洗い」、「咳エチケット」、「換気」等の感染予防策の実施にご協力よろしくお願いします。

1) 麻しん(はしか)
 県内では今年2例の麻しんの報告がありました。
 全国的に麻しんが発生しており、全国では第23週で2例の報告がありました。
 ・旅行先の感染状況を把握しましょう。
 帰宅後は潜伏期間の5～14日(最長21日)は体調を確認しましょう。
 ・38℃前後の発熱、咳、鼻水、結膜充血、発疹などの症状がある場合は、医療機関に電話をした上で受診をしてください。
 ・自身のワクチンの接種回数を確認しておきましょう。
 MRワクチン定期接種年齢のお子様(1歳、小学校入学前の1年間)は早めに接種しましょう。

2) 水痘(水ぼうそう)
 南部保健所管内において第19週で警報は解除されましたが、第22週から再び注意報レベルとなり第23週は定点あたり1.17人(報告数7人)となり引き続き注意報レベルとなっております。

3) 流行性角結膜炎
 南部保健所管内において、2026年第23週において定点当たり8.00人(報告数24人)となり警報発令基準値8.0を超えたので警報発令となりました。
 流行性角結膜炎は、眼瞼(まぶた)の浮腫、流涙(なみだ目)、耳前リンパ節の腫脹などを特徴とする目の感染症です。目からの分泌物を介して感染するため、分泌物の適切な処分、手洗いの励行、タオルや目薬など目に接触するものの共用は避けましょう。

発熱、長引く咳など体調不良時には、かかりつけ医に相談、受診もしくは、受診医療機関に迷う場合は、「おきなわ#7119電話相談」(#7119 若しくは 098-866-7119)へご相談ください。

沖縄県全体報告数

南部保健所管内報告数

疾病名	定点区分	20週	21週	22週	23週	23週	20週	21週	22週	23週	23週
		5/11	5/18	5/25	6/1	(定点あたり報告数)	5/11	5/18	5/25	6/1	(定点あたり報告数)
インフルエンザ	インフルエンザ	111	69	49	35	(0.80)	36	28	23	21	(1.75)
咽頭結膜熱	小児科	8	11	13	11	(0.46)	3	1	1	1	(0.17)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	小児科	31	33	23	16	(0.67)	3	7	6	5	(0.83)
感染性胃腸炎	小児科	79	80	63	102	(4.25)	40	40	32	41	(6.83)
水痘	小児科	12	9	11	9	(0.38)	3	5	8	7	(1.17)
手足口病	小児科	15	15	31	44	(1.83)	5	5	20	15	(2.50)
伝染性紅斑	小児科	1	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
突発性発疹	小児科	6	6	14	9	(0.38)	1	2	2	2	(0.33)
ヘルパンギーナ	小児科	11	19	10	10	(0.42)	10	11	4	6	(1.00)
流行性耳下腺炎	小児科	2	3	0	0	(0.00)	1	0	0	0	(0.00)
急性出血性結膜炎	眼科	0	0	1	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
流行性角結膜炎	眼科	22	19	26	33	(3.67)	15	12	15	24	(8.00)
細菌性髄膜炎	基幹	2	2	1	0	(0.00)	1	0	1	0	(0.00)
無菌性髄膜炎	基幹	0	0	1	1	(0.14)	0	0	0	0	(0.00)
マイコプラズマ肺炎	基幹	1	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
クラミジア肺炎	基幹	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
RSウイルス感染症	小児科	26	35	36	38	(1.58)	10	14	15	12	(2.00)
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	基幹	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
COVID-19	COVID-19	31	22	18	9	(0.20)	9	5	3	1	(0.08)

警報

注意報

※クラミジア肺炎については、オウム病を除く。